



生命の星・地球博物館の標本 de むりえ

- ① 写真を参考にしながら本物と同じような色合いにぬってみましょう。
- ② 空想力をはたらかせ「こんな色の生きものがいたらいいな」と思いながら自由にぬってみましょう。

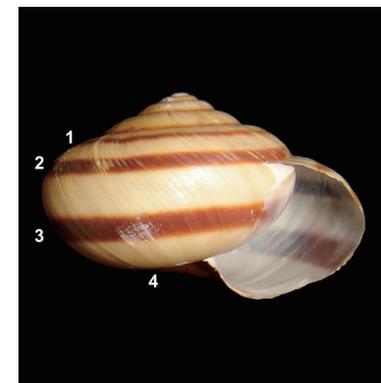


ミスジマイマイ

Euhadra peliomphala (Pfeiffer, 1850)

KPM-NGD000107

南関東地方では最も身近なカタツムリのなかまです。殻の周縁に3本の濃色帯（下図の123）を持つことから「ミスジ」の名がつけられています。この3本の濃色帯に加えて、殻の基底部（4）も濃色で彩られることがあります。まったく濃色部がないものから4か所すべてに濃色部があるものまで、変異はまちまちです。そこで、「1234」の各部分が濃色であればその数字を、濃色でなければその代わりに「0」を入れた4桁の数字で、色彩変異を表現します。「0000型」「1230型」「0204型」「1004型」など、さまざまな変異が見られますので、お家の近くで見つけたミスジマイマイが何型か調べてみましょう。



【ポイント】成長に沿った縦の細かい筋があり、その筋は焦げ茶色の色帯を横切っています。色を塗るときにはこの縦の細かい筋が連続するように塗るのが難しそうです。



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History